The Egg Tree House

たまごのある木

あのね、
イエローはたまごでね、
グリーンは木なんだよ。
オレンジはたまごをだいじにする
カーテンなんだ。

1997年５月15日

百珠（ももみ）４歳で神経芽腫を再発し，５歳で亡くなる。
The Egg Tree Houseの名前はこの詩から生まれました。

真蔵院（十住堂）への行き方

〒184-0001　小金井市関野町２丁目８番４号
交　通　中央線東小金井駅北口からCoCoバスで５分～10分
各時刻の９分，29分，49分発武蔵小金井行，小金井公園入口下車
駐車場　五日市街道沿いに駐車場があります。

主催

一般社団法人
The Egg Tree House

〒178-0061　東京都練馬区大泉学園町４-31-４
電話/Fax：03-3867-6791
http://eggtreehouse.org

The Egg Tree House
ファシリテーター養成講座

The Egg Tree House

The Egg Tree House Training and Education

2014年４月から The Egg Tree House が
オープンしました。
The Egg Tree House が始めた子どもたちのグリーフケアは
あなたの力と時間を必要としています。
子どものグリーフケアに関心があり，
ファシリテーターとして The Egg Tree House の
プログラムに参加したい方を歓迎します。

グリーフケアとは喪失体験で心が傷ついている人が自分を取り戻す過程をサポートすることです。
ファシリテーターとは死別悲嘆を抱える人が悲しみを表現し変容できるように絆を結びつづける人のことです。

日時　**2016年11月11日（金），12日（土），13日（日）**
９：00～18：30
場所　The Egg Tree House 十住堂（真蔵院）
費用　20,000円　他に（懇親会1,000円）

申込み・お問い合わせ
egg.tree.house@gmail.com

申込受付　2016年6月1日～2016年10月30日
定　　員　12名
主　　催　一般社団法人The Egg Tree House

大切な人，身近な人を亡くした子ども，10代の子，若者，保護者のグリーフケア，
The Egg Tree House Grief Careは2014年４月から始まっています。

The Egg Tree House
第４回ファシリテーター養成講座プログラム

１日目　11月11日（金）	
9：00-9：50	はじめに　プログラムの説明，グループのためのガイドライン，スタッフと参加者の紹介（小川）
10：00-10：45	グリーフケアの成り立ち（会田）
10：45-11：30	ダギーセンター、エッグツリーハウス（西尾）
11：40-12：30	エッグツリーハウスとファシリテーター（小川）
12：30-13：30	昼食，休憩
13：30-14：20	傾聴、受容、肯定すること（松下）
14：30-17：30	野口体操からのアプローチ（新井）
17：40-18：30	死別後の悲嘆反応（会田）

２日目　11月12日（土）	
9：00-10：30	ロスライン（松下、小川）
10：40-12：40	野口体操からのアプローチ（新井）
12：40-13：40	昼食，休憩
13：40-14：30	子どもとは何か（石川）
14：30-15：20	自死遺族の会から（小川）
15：30-17：00	エッグツリーハウスから（西尾）
17：10-18：00	死との向き合い方（孤島）
18：20〜	懇親会

３日目　11月13日（日）	
9：00-9：50	グリーフカード（西尾＋ファシリテーター）
10：00-11：00	子どもの姿―わが子を看た経験から―（小野、尾本、西尾（恵））
11：10-12：40	アートとグリーフ　作品作り（小笠原）
12：40-13：40	昼食，休憩
13：40-15：00	大人のたまごの時間、グループワーク（尾本、小野、大島、佐田）
15：10-16：10	子どものたまごの時間、グループワーク（石川（宗）、会田、西尾）
16：20-17：00	いろいろなお家（小川）
17：00-	修了式

◉（筆記用具，お弁当）持参，動きやすい服装でおいでください。

講 師 紹 介

小川有閑

(一社)The Egg Tree House理事，プログラムマネージャー，浄土宗蓮宝寺住職。
2008年より「自死・自殺に向き合う僧侶の会」等で自死対策に関わる。2010年東京大学大学院人文社会系研究科博士課程（宗教学宗教史学）単位取得満期退学。大正大学地域構想研究所研究員。最近は僧侶の自死に関する活動やその意味に関心を持ち，研究を進める。2012年ダギーセンター（米国オレゴン州）で研修。

新井英夫

体奏家・ダンスアーティスト。投げ銭方式の野外劇などマチと関わる演劇活動を経て独学でダンスへ。自然の動きをお手本に力を抜く「野口体操」を創始者野口三千三より学び，深い影響を受ける。国内外での公演活動とともに，乳幼児から高齢者まで，また障がいの有無を問わず様々な対象に，教育・福祉・まちづくりに関わる現場で「からだからダンスを発見」するワークショップを展開中。2006〜11年まで山形大学，2012年より天理医療大学にて非常勤講師。（財）地域創造「公共ホール現代ダンス活性化支援事業」登録アーティスト。
http://blog.goo.ne.jp/karadakara

西尾温文

(一社)The Egg Tree House代表理事，プログラムマネージャー，臨床心理士。
2007年より順天堂医院がん治療センター心理士，2011年立教大学大学院現代心理学研究科博士課程単位取得退学。2012年３月ダギーセンター（米国オレゴン州）で研修，2012年Kids HurtToo（ハワイ）で３ヶ月間研修。2013年７月International Summer Institute（ダギーセンター）で研修。

会田秀子

(一社)The Egg Tree House理事，プログラムマネージャー，看護師。
2004年東洋英和女学院大学大学院人間科学科（死生学）修士課程修了，2011年順天堂大学大学院医学研究科病院管理学博士課程修了（医学博士），2012年３月，2013年７月International Summer Institute（ダギーセンター）で研修。NPO法人全国自死遺族総合支援センター主催のグリーフサポート活動のボランティアをしている。

孤島法夫

真言宗僧侶　真蔵院住職。元大学教授，現在保護司。
幼少時，主な健康管理は触手療法であった。また，仏教修行中にある体験をし，その後野口晴哉師の「野口整体」に触れ，坪井香穣師の「メビウス気流法」に大いに影響を受けた。これらの経験から身体感覚を通した世界観を意識し始め，死と魂，身体と受容等に関心を持つ。

松下弓月

僧侶、臨床心理士。東京大学大学院教育学研究科博士課程。
多摩大学ならびに神奈川県立衛生看護専門学校非常勤講師。僧侶として活動する中で様々な悩みや苦しみを抱える人と出会う中で、カンセラーを志す。現在は寺院においてどのようなグリーフケアが可能か、実践的な研究に取り組む。